

教育長室からのお知らせ No. 81(令和4年4月)

教育長 田中 康寛



令和4年度が始まりました。春は何かしらの環境変化があり、期待と不安が入り混じる季節ではありますが、新たな出会いに感謝し、お互いの成長につなげてまいりましょう。

本通信の表題には今年度も「万里一空」と「堅忍不拔」を掲げ、本市の教育行政に努めてまいる所存です。それは、いかなる難題・課題が生じて学びを止めないためには、目標に向かいたゆまず努力を続けるという「万里一空」と、どんな困難にも耐え忍び意志を貫くという「堅忍不拔」の決意をもってして取り組んでいく必要があると強く思うからです。市川教育の更なる充実・発展に皆様のお力添えを引き続き賜りますようお願い申し上げます。

教育委員会では「正しく恐れ、学びを止めない勇気と決断を！」を合言葉に、学校での学びの継続に力を注いでまいります。学級閉鎖等の際や子どもの状況によってはオンラインでの学習も必要ですが、学校に登校し、友達や教職員と対面して学ぶこととオンライン学習は「同等」ではなく、授業以外の学校生活そのものも大きな学びであることは言うまでもありません。

また、健康教育、心の教育の推進も今年度の主要な方向性の一つです。コロナ禍による運動時間の減少、ゲームやインターネットの過剰使用が子どもたちの心と体に及ぼす影響が危惧されるところです。特に、今年度入学してくる小学校新1年生は、幼児期の2年間をコロナ禍で過ごした子どもたちです。幼稚園・保育園等では発達段階に応じて、工夫を凝らした教育活動を進めておりますが、身体接触の制限やマスクの着用（表情が見えない）などが、子どもたちの心身の発達に少なからず影響を与えていると考えられます。さらに、新たに幼稚園に入園する子どもたちは、より幼い時に、十分な触れ合いやさまざまな体験が十分に得られなかったと思われます。幼い子どもたちにとっては、人との触れ合い自体が学びとなりますので、コロナが与えた影響は今までにない様相を呈するかもしれません。心と体の健康に関する取組は、食育やヘルシースクール、正課体育、適応指導教室、相談体制の充実などさまざまあります。これらの取組を確かなものとするために、教職員が子どもを見取る力を養い、学校種や学年を越え、つながりを意識して子どもの実態把握をできるよう努めてまいります。

これまでの2年間もそうでしたが、今後も予測困難な状況を我々大人が打破していかなければなりません。各園・学校ではチームとして結束力を高めて向き合っています。そのために、教育委員会では教職員を全力でサポートしていく所存です。1年間どうぞよろしく願いいたします。